

# 春の水稲育苗指導会のご案内

| 開催日時                 | 開催場所                       |
|----------------------|----------------------------|
| 4月6日(水)<br>昼 1時30分より | JA 魚沼みなみ(美佐島)<br>本店2階 休憩室  |
| 4月7日(木)<br>昼 1時30分より | JA 魚沼みなみ(浦佐)<br>営農センター大会議室 |

- 内容**
- ◆健苗育成のポイント ◆プール育苗のポイント
  - ◆微生物農薬の使用ポイント ◆その他

※都合の良い会場へ参加してください。



## ●今年の消雪予想(3月10日現在)

### 大和庁舎

積雪 230cm 消雪予想 4月30日

### 城内地域開発センター

積雪 166cm 消雪予想 4月15日

ご不明な点等がございましたら JA 米穀課 (TEL777-3180) までお問い合わせください。

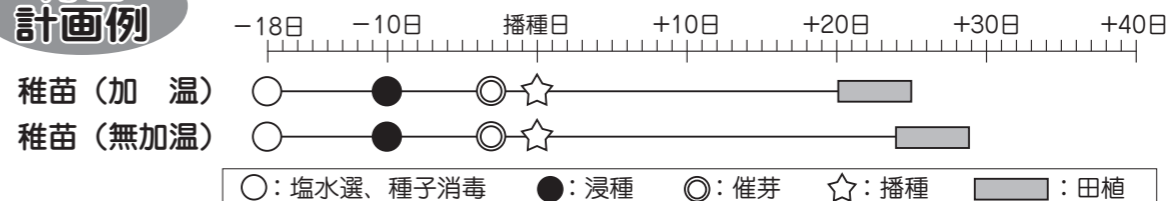
# おいしい米づくり情報 No. 1

南魚沼市 NOSAI 魚沼 JA 魚沼みなみ  
平成 23 年 3 月 24 日発行

## 種籾の準備

種子は必ず種子更新されている種子を使いましょう。  
※自家採種を繰り返すと、本来の品種特性が失われる危険性があり、「南魚沼米」ブランド評価の低下を招きます。

## 育苗計画例



田植え予定日から逆算して育苗計画を立てましょう。

## 作業日程のめやす(稚苗)

塩水選・種子消毒  
4月10日頃～

播種日  
4月25日頃～

田植日  
5月20日～25日頃

播種が早すぎると初期生育が強まり、品質・食味の低下を助長します。

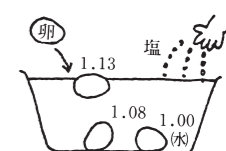
## 塩水選 (播種日から18日前)

- 正しい比重の塩水で、充実した種籾を選別しましょう。
- 浮かんだ籾は、未熟不良の籾なので、捨てる!!
- 塩水の中に籾を入れる際は、籾についた気泡を落とすため、棒などでかき混ぜましょう。
- 塩水選後は、よく水洗いをしてください。

塩水の作り方: 水10ℓ当りの塩の量

| 区分  | 比重   | 食塩の量  |
|-----|------|-------|
| うるち | 1.13 | 1.9kg |
| もち  | 1.08 | 1.1kg |

### 鶏卵による比重測定法



## 種子消毒 (播種日から18日前) ... 種子伝染性病害の防除

### ● テクリード C フロアブル ●

| 消毒方法  | 処理の方法                        |
|-------|------------------------------|
| 低濃度浸漬 | 200倍液・24時間浸漬(薬剤100ml/種籾10kg) |
| 高濃度浸漬 | 20倍液に10分間浸漬                  |
| 種子塗沫  | 原液を籾1kg当り5ml相当塗沫             |

### 《使用量のめやす》

| 種籾の量           | 5kg   | 10kg    | 25kg    | 50kg    | 同一薬剤の使用回数 |
|----------------|-------|---------|---------|---------|-----------|
| 水の量            | 10ℓ   | 20ℓ     | 50ℓ     | 100ℓ    |           |
| 低濃度浸漬の場合(200倍) | 50ml  | 100ml   | 250ml   | 500ml   | 1回のみ      |
| 高濃度浸漬の場合(20倍)  | 500ml | 1,000ml | 2,500ml | 5,000ml | 反復使用できる   |

## ● タフブロック(微生物農薬)の使用上の注意 ●

希釈倍数 200倍: 種子浸漬: 催芽時 24時間・催芽前 24～48時間

- 使用時期: 催芽時か催芽前  
(催芽前の場合は、浸種の最後の1～2日間に使用する)
- 使用量: 200倍 24～48時間
- 使用回数: 低・高濃度ともに1回のみ
- めやすは上記の表を参考にしてください。(mlをgにおきかえる)

## 風乾

### ● テクリード C フロアブル ●

- ・ テクリード C の種子消毒の効果を上げるために、消毒終了後 24～48 時間の風乾を行ってください。
- ・ 風通しの良い日陰でシートなどにうすく広げて、種粉の表面が乾いて薬剤が固着するまで乾かしてください。

### ● タフブロック（微生物農薬）は天日による乾燥はしないこと。

## 浸種 ……必ず水道水や井戸水などの清水を使いましょう

### ○水温は 10～15℃

### ○積算温度 100℃をしっかりと行いましょう。

- ・ 種粉と水の容量比は 1：2 とする。（種子粉 1kg に対して約 3.5 l の割合）
- ・ 種子消毒の効果を高めるため、前半の 4 日間は水を取り替えないようにしましょう。
- ・ 浸種時の酸欠を防ぐため必ず 2～3 回水を更新し、上下反転させましょう。
- ・ 十分に吸水した粉は、粉殻の色が透き通った“あめ色”になります。
- ・ 浸種期間中は、水温を 1 日 2 回（朝・夕）以上確認しましょう。

### 【今年の水稲種子の休眠】

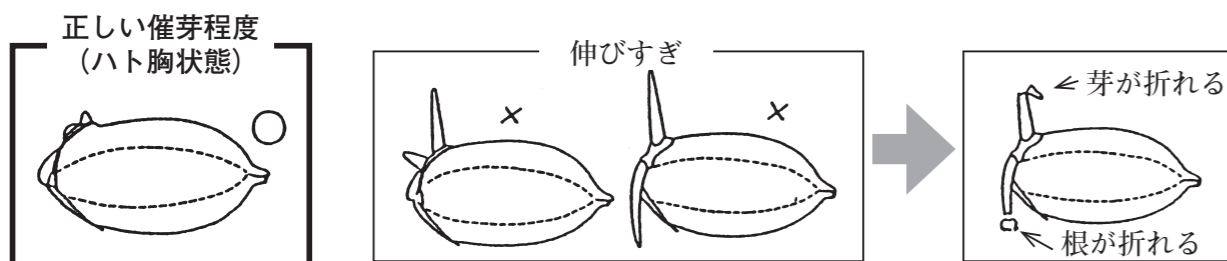
今年の子は、休眠が「深い」と推定されますので、余裕を持った育苗計画を作成しましょう。また、浸種時の水温管理に十分注意してください。特に浸種初日の水温が重要です。

## 催芽（播種の 3 日前）……播種日に合わせて実施

発芽温度は 30℃、ハトムネ状態に仕上げる。

日数は 1～2 日が目安ですが、発芽状態を必ず確認してから終了してください。

- ・ 温度が 30℃を超えると、細菌性病害が発生しやすくなるので注意しましょう。
- ・ 催芽終了の発芽状態はハト胸程度とし、発芽率が 80%以上となるよう日数を調整しましょう。「コシヒカリ」「五百万石」などの発芽しにくい品種は、催芽不足にならないように注意し、必ず発芽状態を確認してから催芽を終了しましょう。
- ・ シャワー式催芽器（ハトムネ催芽器）を使用する場合は、カスミン液剤は加用しないようにしてください。（耐性菌の発生を助長する恐れがあります。）



## 催芽の風呂等を使う場合

- 種粉袋には余裕を持たせる。
- 種粉袋の中心までお湯が回るように操作する。
- お湯の温度は、温度計で確認すること。（種粉の袋を入れる前と後では温度が変わる。）
- 酸素不足にならないように、たまに水切をする。

### 注意

種子消毒の残液、廃液および容器・器具などの洗浄に使用した水は適正に処理してください。かんがい水路、排水路、河川、湖沼などには流さないでください。

## 床土と覆土の準備

### 1 箱当り

#### 床土の作り方

|             |    |       |                 |
|-------------|----|-------|-----------------|
| 床土          | 内訳 | 焼土    | 2.5 l (約 2.5kg) |
|             |    | ピートモス | 0.8 l (4.5 合)   |
| タチガレエース粉剤   |    |       | 6g              |
| 稚苗配合        |    |       | 25g～30g         |
| ※中苗の場合は中苗配合 |    |       | 35g～40g         |

#### 覆土の作り方

|         |                  |
|---------|------------------|
| 焼土      | 1.25 l (約 1.2kg) |
| ダコニール粉剤 | 8g               |
| カスミン粒剤  | 20g              |

### 資材 1 袋当り

#### 床土・覆土の場合

| 分類 | 資材名       | 1 袋の量 | 1 袋の出来る箱数 |
|----|-----------|-------|-----------|
| 床土 | 焼土        | 20kg  | 8 箱       |
|    |           |       | 16 箱      |
| 床土 | ピートモス     | 50 l  | 62 箱      |
|    | 稚苗配合      | 10kg  | 330～400 箱 |
|    | 中苗配合      | 10kg  | 250～280 箱 |
|    | タチガレエース粉剤 | 1kg   | 165 箱     |
| 覆土 | ダコニール粉剤   | 3kg   | 375 箱     |
|    | カスミン粒剤    | 3kg   | 150 箱     |



## ホーネンス培土を使用する場合

- 培土にはすでに肥料・ピートモスが混和されています。
- 床土 1 箱当り 2.8kg 使用が目安で、窒素成分 1.3g となります。
- 苗立枯病の防止をする場合は農薬の混和が必要となります。

細菌性病害対策のために必ずカスミンの箱処理を行いましょう。

| 処理方法      | 薬剤名    | 処理濃度・量            | 備考               |
|-----------|--------|-------------------|------------------|
| 覆土混和      | カスミン粒剤 | 覆土 1 箱当り 20g 混和   | 育苗箱 150 箱分 / 3kg |
| 播種後、覆土前灌注 | カスミン液剤 | 4 倍希釈液箱当り 50ml 灌注 | 育苗箱 40 箱 / 500ml |